

Saori Ikeuchi TIMES / no.017 / 2020.5.17 sun.

TOKYO 12 HAUS

池内さおり通信
 日本共産党
 衆院東京12区
 池内さおり事務所
 〒115-0042
 東京都北区志茂
 2-53-7

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com

PCR 検査の大幅拡充を！ 12 区でも検査体制強化

新型コロナウイルス感染の有無を調べる PCR 検査の少なさが課題となっています。重症化・重篤化の防止、感染実態把握のため、大幅な拡充が急務です。

東京都医師会などは、保健所を介さず PCR 検査センターで検査する新たな取り組みを始めました。12 区内の各区でも区独自の検査センターの設置が進められています。

しかし 4 月 30 日に成立した国の補正予算では、検査センター設置の費用は全くつけられていません。国は後押しのための予算措置を行うべきです。

感染拡大を防止し、命とくらしを守るため、引き続き医療、補償へ抜本的な支援強化を求めています。



北区長(左)にPCRセンター設置を含む申し入れを行う(左から)ながいともこ区議、池内さん、のの山けん区議

色あざやかな社会へ

Column vol.17

5月1日は何の日？

1日、ドイツ出身の友人が赤いカーネーションをくれました。ヨーロッパでは、赤いカーネーションがメーデーのシンボルなのだそう。手に持ち集い、家で花瓶にいけたりして、労働者の権利、8時間労働、健康獲得のために街中が盛り上がり、TOKYO番組もメーデー特集！会社のボスが労働者にカーネーションを配ることもあるそう。

「人々は自分が属する階級を明確に自覚しており、その状態をより良いものにするために、政治や制度を変えることの重要性を認識し力を合わせる。ソリダリティの精神がとても強い」と友人は語ります。

また、「階級」という概念や労働運動もドイツでは学校教育の中で教えられ、歴史と社会構造を学ぶ中で、個人が「階級」への自覚と実践を経験していく。その個人への参加によってますます意味深いものとなっていることを、友人との会話で感じました。

全ての人々が生きていきやすくなるために、社会構造を変える。互いを祝福する。日本では「労使の対立」のように描かれがちなメーデー。日本でも、メーデーの意味をシェアし、祝いあいたい。



池内さおり
Saori Ikeuchi
前衆議院議員

毎月 12 日は

TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりがお待ちしている「TOKYO 12 HAUS」の日。
実施再開のめどが立ち次第お知らせいたします。

池内さおり トークタイム

新型コロナウイルスの状況を踏まえ、
5月の実施を見合わせます。



さらなる支援、待たなし 命 まもる政治を

4月、池内さんは新型コロナに関わって、12区内の様々な現場、関係者から話を聞きました。

医療現場の状況 オンラインで



4月10日にはテレビ電話を使い、党東京都委員会コロナ対策本部長の谷川智行さんとともに、足立区の医師から聞きとり。医療現場の実態に加え、「感染拡大防止のために重要な局面」との認識、そのための補償の重要性も語られました。

ケアの現場は—— 介護事業所、 保育士、子ども食堂に聞く

高齢者や子どもたちのケアの現場も深刻です。せいの恵子北区議とともに、15日に区内の子ども食堂の代表の方から休校中の子どもたちの様子について、22日には居宅介護支援事業所のケアマネージャーの方から感染リスクや減収などの厳しい状況を聞きました。

また25日にはテレビ電話で、北区の非常勤保育士の方から聞きとり。保育対象の縮小により給与が払われていないとの実態が語られました。



子ども食堂での聞き取り

「自粛で収入ゼロ」赤羽個人店主ら

10日、のの山北区議とともにスナックやバーの店主らから「貯金を切り崩して生活している」「先が見えない」と切実な訴えを聞きました。

これらの実態に対し池内さんは、国・自治体の対応を強く求めていくと語りました。



都内大学生とオンライン学習会

池内さおりさんは4月23日、都内の大学の民青（民主青年同盟）班が開催したオンラインでの学習会にゲスト参加し、ジェンダーをテーマに学生たちと語り合いました。

学生一人ひとりがジェンダーに関わる自身の体験や思いを語ると、池内さんからは、私たちがいかにジェンダーバイアスに満ちた社会に生きているかが語られました。

性表現や痴漢冤罪についてなど率直な質問も出され、意見交換。真剣な議論の深まる会となりました。



テレビ電話で学生と語る池内さん

オンラインイベント開催

5月の
IKEBA
ワーク
ショップ

トークセッション 画家・林美蘭 × 池内さおり



延期していたトークセッションを、以下のように開催します。

日時 5月30日(土)16:30～18:30
(オンラインアプリ「Zoom」を使用)

※5月25日(月)までにお申込みください

林美蘭さんが描くのは、既定の価値観の枠をこえた美。時代のメインストリームになつてこなかった社会の風景、その中にあるかけがえない人生について、感じ語り合う時間です。ぜひご参加ください。

【お申込み要項】

ご参加希望の方は、QRコード▶からお申込みいただくか、下記の連絡先までご連絡ください。



応募多数の場合は抽選。結果と参加URLを27日(水)にメールにてお知らせいたします。

電話：03-5939-6581

メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com